

はらはらさせる程にエキサイティング。極めてシンプルな旋律をも生まれ変わらせる。
その驚くべき魔術を一度体験したら、他の演奏を探し求める気は一切なくなるだろう。

(O.シャルリエ評/ストラド誌)

シュトロッセは「ニュアンス」という言葉が持つ2つの意味をどちらも完璧にモノにしている。
それはつまり、決して誇張しすぎない音、そして幅広い色彩と鮮やかさ…。

一貫して繊細なタッチ、その独創性溢れる音楽創りに、私は思わず感謝してしまうほどだ！

(E.シュトロッセ評/ディアパゾン誌)



ヴァイオリン
オリヴィエ・シャルリエ
Olivier Charlier

熟達した技法と独特の存在感で、今や輝かしい円熟期を迎えるヴァイオリニスト。10歳でパリ国立高等音楽院に入学しジャン・フルニエ(チェリスト ピエール・フルニエの弟)に師事。名教師ナディア・ブーランジェを始め、メニューインやシェリングらからも才能を認められ、若くしてミュンヘン、モンテリオール、シベリウス、ロン＝ティボー等の国際コンクールで次々に受賞を重ねる。

以来30年以上、フランス国立管、パリ管、ロンドン・フィル、バーミンガム市管、NHK響、大阪フィル等世界中のオーケストラと共演する等、国際的に演奏活動を行う。多数の協奏曲の名曲をレパートリーに数える一方、知られざる作曲家の作品も積極的に演奏。室内楽にも熱心で、ラ・ロック・ダンテロン、ブラード・カザルス、モンペリエ、ラ・フォル・ジュルネ等、多くの音楽祭に定期的に参加。ドゥカンやユボーら自身の師たちに続き、次世代にバトンを引き継ぐ使命を果たすべく、パリ国立高等音楽院にて教鞭をとる。またロン＝ティボーなどの国際コンクールで審査員を務める。

使用楽器は1747年製カルロ・ベルゴンツィ。



ピアノ
エマニュエル・シュトロッセ
Emmanuel Strosser

同世代の中でも注目のピアニストとして、有名音楽祭や国際的な舞台でリサイタルを行う他、ソリストとして主要オーケストラと共演。室内楽も重視しており、クレール・デゼールとピアノ・デュオを組む他、オリヴィエ・シャルリエ、ヤン・ソンウォンと結成したトリオ・オウオンのメンバーでもある。

ストラスプール出身。エレヌ・ボスキに師事した後、パリ国立高等音楽院でジャン＝クロード・ペヌティエ(ピアノ)とクリスチャン・イヴァルディ(室内楽)に師事。満場一致で両科の1等賞を得た後、レオン・フライシャー、ドミトリー・バシキーロフ、マリア・ジョアン・ピレシュの下でも研鑽を積む。フィレンツェ国際室内楽コンクール入賞、91年クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールファイナリスト。

現在、パリ国立高等音楽院教授。最近では、シューベルトとシャブリエの作品を収録したソロアルバムをMirareよりリリース。デゼールとの共演では、同レーベルの「L'enfance」(13年)等で高い評価を得ている。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)